



厳寒の年越しをあたため「しし汁」でホッと笑顔

12月定例会で可決された主な議案は次のとおりです

12月定例会は、12月9日から12月19日までの11日間の日程で開きました。

- 条例関係** 飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例など二件
- 予算** 平成二十年度飯南町一般会計補正予算(第五号)など六件
- その他** 飯南町土地開発公社の解散について一件



平成20年度 一般会計補正予算は 携帯電話不感地域の解消対策事業費及び頓原中学校体育館耐震大規模改修事業など **3億5千7百12万円**

各会計	補正予算	予算総額	
一般会計	357,122千円	6,884,225千円	
特別会計	国民健康保険事業	73,785千円	796,700千円
	後期高齢者医療事業	2,500千円	158,011千円
	簡易水道事業	800千円	379,025千円
	下水道事業	1,772千円	445,067千円
	病院事業	12,207千円	1,205,821千円

陳情

(陳情者)

- 井戸谷上自治会 会長 小松 勇雄
- 井戸谷下自治会 会長 難波 郁雄

(内容)

井戸谷旧保育所入口より長徳寺までの現道を、町道昇格及び除雪車進入のための拡幅工事についての陳情

(審査委員会)

教育経済常任委員会

(審査結果)

採択



新年のご挨拶

飯南町議会議長
那須 穂士輝



本年も何とか
お願ひ申し上げます

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、明るく希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年中は皆様方の温かいご理解ご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、心からお礼申し上げます。
さて、低迷を続けております我が国の経済、政府としても様々な施策をとっておりますが、多くの国民には回復の実感などまったくなく、地方自治体を取り巻く諸情勢も依然として厳しいものがあります。
本町におきましても、過疎化、少子高齢化が加速し、将来の担い手養成が喫緊の課題となっております。更に、地方交付税の減額等により、自主財源の乏しい本町の財政状況は極めて、厳しい状況であります。

このような情勢下で、最小限の投資で最大の効果が得られるよう、何が必要で何を最優先にすべきかを見極める視点が最も大切であり、議会の果たす役割は一層拡大し、重要度も増してきておりますが、本町議会も本年七月改選となります。
旧町ごとの選挙区から選出された現体制も残すところ六ヶ月足らずとなりました。全議員が気持ちを新たにし、住民生活の安定向上を図るため、議員一同切磋琢磨し積極的に取り組んで参りますので、皆様の変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願いいたします。
町民の皆様にとりましても、この一年が実り多い年でありますようにご健康とご多幸を、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

